## 精神保健福祉シンポジウム

「地域社会での支えあい
～ＮＰＯの活動を理解する～」

～～～～～～～～～～～～

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、新しい担い手としてのＮＰＯ活動への期待が高まっています。
今、地域でのメンタルヘルス分野においてＮＰＯ活動がどのように展開され、何が問題になっていて、どんなことが求められているのでしょうか。
共に考えるシンポジウムです。

◇日　時・平成17年10月27日（木）
13：30～15：30
◇場　所・愛知県東大手庁舎４階
◇プログラム
１部　講話　「ＮＰＯとは何か」
２部　シンポジウム
「ＮＰＯの活動とは何か」
シンポジスト
ＮＰＯ法人ワーカーズ春日井　理事長　森長節子氏
〃　あっとわん　代表理事　河野弓子氏
〃　サポート知多　事務局長　今井友乃氏
◇参加費　無料
◇主　催　愛知県精神保健福祉協会

## 第１７回みんなと一緒に
## 福祉とボランティア活動展

◇と　き／10月15日・16日
◇ところ／一宮スポーツ文化センター
「まごころ」も参加します。皆さんもお出掛けください。
ふれあいの輪を広げましょう！

## ミニデイサービス便り

### 田園の中のミニデイ

街のまん中にお住まいのＹさんは、車社会の中で毎日を過ごしておられます。
「私はここのデイが好き。辺りの緑の風景がいいねえ。心が癒されるんだがね」と保育園でのデイをたのしみに来られます。
周りは静かな田んぼの中、聞こえてくるのは園児さんのかわいい声だけ。
ある日Ｙさんは
『青いそら　園児たのしく　水あそび』
と、俳句を詠まれました。
それからはや２ヶ月たち、
『秋風や　いなほの先に　赤とんぼ』と同じミニデイ参加の利用者さんの俳句どおりの季節になりました。保育園の周りが秋色に染まりはじめた風景を、Ｙさんは
「やっぱりええねえ」とおっしゃった。
園庭から運動会の練習する園児の元気な声が田からわたる風と一緒になった。

10月のミニデイサービスは
保育園10／13・27　事務所／４・11・18・25

## 10月の予定

１日（土）会報「まごころ」発行
２日（日）定例会
ワーカー介護技術勉強会
児童デイ定例会
移動ネットインストラクター打合せ
４日（火）ミニデイサービス
ワーカー介護技術勉強会
５日（水）サービス提供責任者会議
６日（木）ワーカー介護技術勉強会
移動ネット愛知理事会
11日（火）ミニデイサービス
12日（水）サービス提供責任者会議
13日（木）ミニデイサービス（保育園）
15日（土）ボランティア展
16日（日）ボランティア展
18日（火）理事会
ミニデイサービス
19日（水）サービス提供責任者会議
25日（火）ミニデイサービス
26日（水）サービス提供責任者会議
一宮市委託講座
27日（木）ミニデイサービス（保育園）
一宮市委託講座

## ふれあい広場

| | |
|---|---|
| *支援費児童デイサービス | |
| 毎週　月、水、木、金 | 15時～18時 |
| 毎週　水、金 | 9時半～12時 |
| 毎週　土 | 10時～17時 |
| *太極拳　毎週　火 | 16時～17時 |
| *中高年のピアノ教室　第2、4月曜 | 9時～12時 |
| *中高年の体操教室　第1、3、5月曜 | 10時～12時 |
| *ふれあい広場でお茶　毎週　木曜 | 10時～12時 |

## 移動サービスを利用して

「まごころ」に感謝
事故のため一時的に歩行困難な状況になり、さまざまな不便、不自由、無力さ、不安を感じたし、また現在も感じている。
中でもギプスをつけ松葉杖で歩行している状態での通院は、「まごころ」の移動サービスがあったからこそ、玄関から病院の往復を安全に果たせたと感謝している。

「まごころ」移動サービスをお願いすると、事前に打ち合わせた通院日と時間に合わせて、持ち物の準備をしリュックを背負って待っていれば、玄関まで車椅子で迎えにきてもらえる。安心して通院ができる。介助経験のない家族よりも安心である。
玄関から病院にそして病院から自宅まで安全に送り届けていただける。

今後もこの移動サービスを、常に歩行困難な方たちを優先させながら、一時的歩行困難者にも利用させていたくことができれば、本当にうれしいのだが。
(匿名さんより)

| ８月の介護保険活動 | | |
|---|---|---|
| 利用件数 | 58 | 件 |
| 生活援助 | 491 | 時間 |
| 身体介護 | 697.5 | 時間 |
| 合　計 | 1188.5 | 時間 |

| ８月の支援費活動 | | |
|---|---|---|
| 訪問件数 | 31 | 件 |
| 身体介護 | 110.5 | 時間 |
| 家事援助 | 112.5 | 時間 |
| 移動介護 | 59 | 時間 |
| 日常生活支援 | 19.5 | 時間 |
| 合　計 | 301.5 | 時間 |

| ８月児童デイ（午前） | | |
|---|---|---|
| 児童デイ開所日 | 9 | 日 |
| 延べ参加人数 | 59 | 人 |
| 参加人数／日 | 6.6 | 人/日 |
| ８月児童デイ（午後） | | |
| 児童デイ開所日 | 22 | 日 |
| 延べ参加人数 | 191 | 人 |
| 参加人数／日 | 8.7 | 人/日 |

| ８月の会員登録 | | |
|---|---|---|
| 協力会員 | 62 | 人 |
| 利用会員 | 90 | 人 |
| 賛助会員 | 108 | 人 |
| 合　計 | 260 | 人 |

| ８月の助け合い活動 | | |
|---|---|---|
| 有償活動件数 | 28 | 件 |
| 有償活動人数 | 41 | 人 |
| ミニデイサービス利用者 | 66 | 人 |
| 移動サービス利用件数 | 222 | 件 |
| ふれあい広場利用回数 | 15 | 回 |
| 助け合い活動時間 | 576 | 時間 |
| 補助事業（精神障害者在宅） | 12 | 時間 |

## 11月の予定

11月6日（日）
定例会　　9：00～9：30
**ふれあいまつり**　10：00～15：00

## 痛みと私

高　勝義

誰でもそうであろうが、長い人生の間に色々な痛みを経験する。身体的痛み、心の痛み、家庭的・社会的な痛みなど色々な痛みである。私も例外ではなく、今までに全ての痛みを経験してきた。そしてその痛みをなんとか乗り越えてきた。
しかし今回経験した痛みは、今まで経験した中でも真に辛いものであった。事の始まりは6年前にさかのぼる。頚椎椎間板ヘルニアになり、痛みから開放されるために、手術に反対する人々に逆らい、清水の舞台から飛び降りるつもりで頚椎の手術を行ったのである。思いもよらぬ術後の痛みのために、もうこれで自分は終わりかと思い、息子を枕元に呼んで、後はよろしく頼んだと、わけの分からないことを言ったことがある。
予想しなかった術後痛と、疼痛緩和処置に対する不満から、付添の妻に甘え、病室の中で唸っていたことを覚えている。幸いにも二ヶ月間ほどの間にその痛みは自然に軽快し、そんな事もあったのかと忘れるほど元気になり、山下病院の院長をやらせていただいた。
もうこれであの辛い痛みは経験しなくてよかろうと思っていたのだが、人生そんなに甘くはない。昨年の暮れより首から肩の痛みを感じるようになった。まさか頚椎ヘルニアの再発ではないかと、色々と検査をするのだが、特に異常は認めない。診察してくれた医師も、先生疲れではない？といって真剣に取り合ってくれない。
しかし首から肩の痛みは徐々にひどくなり、終いには痛みのために睡眠が出来なくなってしまった。食欲はいいし、ゴルフもできるし、他人から見ると一体どこが悪いのかと不思議がられる。痛みは厚い鉄板をぐいと押しつけたような、筋肉をえぐり取られるような痛みで、不定期に襲ってくる。
当然な事であるが、我が妻ですら私の痛みは理解できないらしい。我慢に我慢をし、なんとか院長職をやってきたのだが、３月末になりついにダウンしてしまった。
どんな鎮痛剤を用いても痛みは軽くならない。体を横にして、ホッとパックで暖めるか、風呂に入って暖めるしかない。誰にも理解してもらえない痛みに、いらいらする気持ちと、妻や子供達、そして仕事を休まざるを得なかった病院や患者さんに申し訳ないという気持ちで一杯であった。
医者でありながら自分自身がどうしようもない痛み。もうどうにでもなれ、時を待つより仕方がないと決め、ただひたすら体を休める毎日であった。その間にもつたない私を心配し、元気づけてくれた多くの患者さん達や妻には感謝の気持ちで一杯である。
治療の期間も半年が過ぎようとしている。時と共に痛みも軽くなり、後少しというところである。私にとって本当に辛かった痛みに対する薬は、単なる鎮痛剤ではなく、妻や子供、そして私を励ましてくれた多くの人々の暖かい心と声であった。　　（山下病院）

M君の家の前はポーチュラカの花でいっぱい
児童デイの送迎のたびに楽しませていただいています。